

わたしたちにもできるSDGs



問合先 未来課 TEL 201320
FAX 201670

SDGsは、2015年の国連総会で採択された、2030年を達成期限とする17の目標と具体的なターゲットのことで、経済・社会・環境の3つの側面を統合的に発展させて、「誰一人取り残さない」世界を目指しています。

高岡が変われば世界も変わる

本市の総合計画には、SDGsの考え方や方向性を取り込んでいます。また、高岡をより良くするための取り組みは、SDGsの達成にも繋がります。

一人ひとりの取り組みは小さくても、皆さんの取り組みが積み重なれば、地域をよりよくする大きな力となります。SDGsの取り組みを通じ、「持続可能な未来都市 高岡」の実現を目指して、できることから始めていきましょう。

今月は、自分たちのまちの未来を自らの手で創る活動をされている、市内の皆さんの取り組みを紹介します。

友達と一緒にSDGsを探究

古府小学校6年 末廣葵葉さん・小杉陽菜理さん・平西ももさん
(写真右から順)



(小杉) 4年生のときにSDGsに興味を持ち、勉強し始めました。今は友達を誘って「たかおか起業キッズアカデミー」というSDGs関連の行事に参加しています。

(末廣) キッズアカデミーでは、市内の企業の取り組みを学びながら、SDGsに関する商品を自分たちで考えています。秋の「こどもまつり」で販売するので、皆さん楽しみにしていて下さい。

(平西) また普段から、詰め替え商品やエコバッグを使うよう気を付けています。子どもから大人まで、ごみをポイ捨てしないなど小さなことを積み重ねて、大きなことに繋がったらいなと思います。

誰もが住み続けられるまちに

守山地区連合自治会長 谷晴雄さん



守山地区連合自治会では、路線バスの廃止をきっかけに、地域タクシー「もりまる」の実証運行を開始し、9月から本格運行することになりました。移動手段に不安を感じている住民が将来的に増えていくことを見据え「誰もが住み続けられるまち」を目指して導入しました。地域の交流の場としても大変好評をいただいています。

「もりまる」が継続運行し地域の足として定着するには、認知度と利用率の更なる向上が不可欠です。地区内の各自治会長や社会福祉協議会など、地域全体で協力して、守山地区住民への周知活動を進めていきます。

地元食材で農家を応援

ジュンブレンドキッチン店主 大坪順子さん



提供する料理には、地元食材をたっぷり使っています。生野菜のみずみずしさは鮮度が決め手ですし、富山県は日本有数の米どころです。毎日食べるものだからこそ、皆さんのご家庭でもぜひ新鮮でおいしい地元食材を取り入れて、地元農家さんを応援してください。

また経営面では、各従業員に合わせて勤務形態を柔軟に決めています。私自身も子育ての真っ最中で、よく助けてもらっています。皆が気持ちよく働けるようにしたいですし、お客さんや農家さん、地域のみなさん、お店に関わる一人ひとりを大切にしたいですね。

地域住民や子どもたちと海を守る

明るい社会づくり高岡市民会議 成瀬宜史さん



私たちは、きれいな海と、海の生き物を守るため、海岸清掃などに取り組んでいます。毎年5月3日には、伏木中・伏木高・志貴野高校の生徒たちと一緒に、伏木万葉ふ頭の清掃活動をしています。

今年の活動では参加生徒たちに、目の前のごみがどこから出たのか、そのごみが海にどんな影響を与えるのか解説しながら、一緒にごみを拾いました。海洋プラスチックごみに対する問題意識が、子どもたちからその家族、地域へと広がり、高岡の美しい景観がずっと保たれるよう、これからも活動を続けていきたいです。

できることを考えて取り組む

高岡龍谷高校1年 酒井梓菜さん・関藤悠嘉さん・山口愛璃さん
(写真右から順)



(酒井) 買い物に行くときは必ずマイバッグを持参しています。また、シャワーや歯磨きをするときはこまめに水を止めるなど、節水を心掛けています。

(山口) 水筒を持参し、ペットボトルをあまり使わないようにしています。また家では、家族みんなですべての部屋で過ごすようにして、エアコンの節電を心掛けています。

(関藤) SDGsの出前講座(※3ページ下部参照)を受講して、何も行動しないままでは地域は良くなっていけないとわかり、危機感を持ちました。小さなことでも、できることから取り組みたいです。

「たかおかSDGsロゴ」マークを募集しています

高岡のSDGs推進のシンボルとなる「たかおかSDGsロゴマーク」のデザインを募集しています。デザインコンセプトや応募方法など、詳細は市ホームページをご覧ください。

応募期間 9月30日(金)まで



「たかおかSDGsパートナー」を募集しています

SDGsを通じて高岡の地域課題解決に向け、連携して取り組んでいただける企業・団体などを募集しています。登録要件や申請方法など、詳細は市ホームページをご覧ください。



SDGsや、持続可能なまちづくりについて、身近なことから一緒に考えましょう。



出前講座を行っています

市の職員が自治会や各種団体にお伺いし、SDGsについて講座を行います。

▼市ホームページや出前講座パンフレットをご覧ください。いただき、お申し込みください。

▼企業などを対象に、社会課題をビジネスの力や自らの行動で解決する考え方を学ぶワークショップも開催できますので、ご相談ください。



高岡でSDGsに取り組むヒントを一冊にまとめました

ガイドブック「高岡SDGsガイド」には、高岡でのSDGsの取り組みの一例が紹介されており、SDGsを身近に感じ、日々の生活の中で実践するためのヒントが掲載されています。詳細は市ホームページをご覧ください。



経済団体や金融機関、行政などで構成される「たかおかSDGsサポーター」が作成。

余った食材などを市内の子ども食堂へ提供しています。



「健康たかおか10か条」を家族全員で実践し、健康な身体づくりを心掛けています。



万葉線やバスなどの公共交通を使って通勤しています。



オフィスのペーパーレス化に取り組んでいます。また、デジタル技術を積極的に活用し、業務の効率化や生産性の向上を目指しています。



地域での見守り活動や防災活動に積極的に参加しています。



★裏表紙では、目標⑤の「ジェンダー平等を実現しよう」について紹介しています。

みんなで考えるSDGs ～高岡から、世界を変えよう～

問合先 未来課 TEL 20-1320

5

ジェンダー平等を
実現しよう



ジェンダー平等 を実現しよう

誰もが生き生きと働き、安心して
暮らせるまちを目指そう！

現状と課題

各国の「経済参画」「教育の到達度」「健康」「政治参画」の分野で男女不平等の度合いを算出するジェンダーギャップ指数。日本は146カ国中116位（2022年時点）で、社会の意思決定はまだまだ男性中心になっています。また、家事・育児などは女性が主に担っている家庭が多いです。

◀市HPでは、SDGsの17の目標や高岡市での取り組みを紹介しています。



あなたもやってみよう！

**Let's
Action!** 家庭や職場での役割分担を
見直そう！

市ホームページでは、男女平等推進センターが開催するイベント情報を随時お知らせしています。家事・育児などと仕事との調和をテーマとした講座や講演会、イベントなどに参加して、家庭や職場での役割分担を見直してみませんか。

問 男女平等推進センター TEL 20-1810 市HP

